

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス		都城キャンパス	開設学科		子ども教育学科
科目名称 [英語名称]	保育実習指導Ⅱ又はⅢ [Guidance Before-after Internships in Day-care Center/Child Welfare Facilities]				実務経験 教員担当	アクティブ ラーニング	○
科目コード	750131	授業形態	演習	単位数	1	配当学年	4年次
教員氏名	金子 幸				学位授与の方針 との関連	DP2(1) DP3(1) DP3(2) DP3(3)	
授業概要	<p>本授業の目的は、保育実習ⅠAでの学びや大学で学んだ諸教科の内容およびその関連性を踏まえながら、保育実践力を培うことです。 そのために授業では、保育実習における意義と目的を再度、確認し、保育について総合的な視点で学びを深めていくこと、また、保育の観察・記録や自己評価をふまえた保育の改善について理解を深めていきます。</p>						
関連する科目	「保育実習指導Ⅰ」および、「保育実習ⅠA」を事前に履修しておくこと。履修後は、「教職実践演習(幼)」を履修することが望ましい。						
授業の進め方と方法	毎回の授業にて、演習形式の授業を展開します。1回の授業の構成は以下の通りです。授業の前半では、授業計画に沿った内容の講義を行います。後半では、グループディスカッションを通して講義の内容を深く考察し、最後にグループ及び各自の考えをプレゼン等で表現します。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1.「保育実習Ⅱ」の意義と目的及び保育実習の内容と具体的事項についての説明 保育実習Ⅱの意義と目的を確認し、実習内容と具体的事項について理解します。 2.保育実習ⅠAの振り返り 保育実習ⅠAの内容を振り返り、各自の課題を明確にします。 3.実習日誌の振り返り 保育実習ⅠAの実習日誌を基に、記録の方法について省察します。 4.保育実習Ⅱの目標設定 保育実習Ⅱの各自の課題を設定し、その達成方法を考えます。 5.保育指導案の作成—全日指導案 責任実習に向けて全日実習の指導案を作成します。 6.実習中の心得・注意事項 実習中の心得を確認し、注意事項について理解します。 7.実習事後指導—実習の振り返り 実習内容を振り返り、保育者としての課題を明確にします。 8.保育実習報告会での発表 実習報告会を通して、今後の学習計画を立てていきます。 						
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1.保育実習Ⅱの意義・目的、及び実習の内容と具体的事項を理解する 2.子ども理解、実践の展開・評価・改善の一連のプロセスの理解を深める 3.指導案の作成と模擬保育を通して実践力を養う 4.観察・記録の方法を深める 5.実習の成果とまとめを発表し、保育士の業務内容や職業倫理についての理解を深め、保育士としての自己の課題を明確化する 						
授業時間外の学修	<p>保育実習ⅠAの内容を振り返り、毎回の講義内容に関する自らの課題を明らかにしておくこと、乳幼児の発達に関すること、乳幼児の遊びに関する内容を各自で収集し、指導案作成に生かすことを予習とします。 授業で学んだ内容を振り返り、新たな情報収集をすし、保育者として必要な資質・能力の向上に努めることを復習課題とします。</p>						
課題に対するフィードバック	課題・レポートは評価後に返却します。		評価方法		以下の項目に基づいて評価します。[1]学習態度・意欲 50点[2]課題・レポート 50点		
テキスト	『保育実習の手引き』『実習日誌・指導計画案の書き方』(南九州大学人間発達学部で作成)						
参考書	1.保育実習日誌2.保育実習の手引き3.保育所保育指針解説書4.実習日誌・指導計画案の書き方等配布資料						
備考							

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス		都城キャンパス	開設学科		子ども教育学科
科目名称 [英語名称]	保育実習指導Ⅱ又はⅢ [Guidance Before-after Internships in Day-care Center/Child Welfare Facilities]			実務経験 教員担当		アクティブ ラーニング	○
科目コード	750131	授業形態	演習	単位数	1	配当学年	4年次
教員氏名	若宮 邦彦			学位授与の方針 との関連	DP1(1) DP3(2) DP3(3)		
授業概要	<p>本授業の目的は児童福祉施設等(保育所を除く)での各実習における意義と目的を理解し、保育について総合的な視点での学びを深めることです。【態度・志向性の育成】保育実習ⅠBや各授業で学んだ内容及びその関連性を踏まえながら、総合的な保育実践力を培います。また、事前指導においてはゲスト講師による実践事例の講義を通じ、保育の観察・記録や自己評価を踏まえた保育の改善について理解を深めます。</p>						
関連する科目	社会的養護Ⅰ・Ⅱ、子ども家庭福祉を履修しておくことが望ましい。						
授業の進め方と方法	<p>アクティブラーニング型授業を展開します。主にゲスト講師による事前指導を受講します。1回の授業の構成は下記の通りです。後指導では、実習の総括と自己評価を行い、保育に対する課題を明確化するとともに保育士の専門性と職業倫理について自らに引きつけて理解を深めます。</p>						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション。 2. 保育実習ⅠBのふりかえり。 3. 実習課題の設定等。 4. 障害者総合支援法の概要について。 5. 障害児入所施設の概要と、その支援について。 6. 障害をもつ子どもへの支援のあり方。 7. 児童発達支援センターの機能と役割。 8. 乳児院の実践。 9. 被虐待児へのケアの在り方 10. 児童養護施設の実践。 11. ファミリーソーシャルワーカーの役割と専門性。 12. セカンド ステップ実践講座Ⅰ 13. 社会的養護の動向と課題。 14. 巡回指導・事後指導 15. 実習報告会 						
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育実習Ⅲ(施設)の意義・目的、及び実習の内容と具体的事項を理解する。【姿勢・志向性の育成】 2. 社会的養護における子どもの支援と保育者としての専門性を理解する。【職業知識・技能の育成】 3. 子ども理解、実践の展開・評価・改善の一連のプロセスの理解を深める。【自己管理能力・生涯学習力】 4. 有効なコミュニケーション・スキル、子どもへの援助技術を高める。【職業知識・技能の育成】 						
授業時間外の学修	<p>授業中に次の授業内容(予習箇所)を提示します。次の授業までに確認してください。施設実習に関する文献、先輩の実習日誌等を参考に各施設の機能・実習生に求められる役割・基本視点等について15分程度の予習・復習をしてください。また、ゲスト講師が所属される施設の概要や機能についてホームページ等で確認してください。</p>						
課題に対するフィードバック	レポート、最終試験は評価後、返却及び解説をします。			評価方法	学習意欲70点、レポート提出20点、ワークシ ョップ等10点		
テキスト	①保育実習日誌 ②保育実習の手引き						
参考書	「施設実習ガイド」保育者として成長するための事前事後学習 萌文書林						
備考							